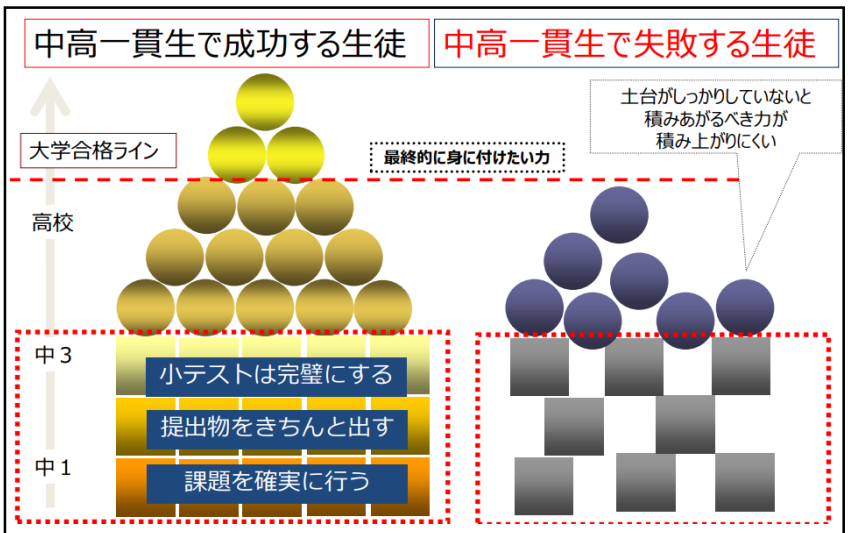
ミラ☆タン

令和５年１月24日発行
勝田中等教育学校 未来探究室
未来探究通信　VOL. 8

学習の土台をしっかりと固めよう



学力推移調査分析会資料（ベネッセ）より一部抜粋

左図は、６月に実施した学力推移調査分析会で、講師の山下先生（ベネッセ）よりお話しいただいた際の資料の一部抜粋です。ここには、中高一貫校の**前期課程（中1～中3）で学習の土台をしっかりと固めることがとても重要**であることが示されています。

今年度も終盤を迎えましたが、日々の学習への取組はどうですか？土台を固められていますか？特に以下の点ができているか、自己反省してみましょう。

- **授業を集中して受けている。**
- **予習→授業→復習という「黄金のサイクル」を確立している。**
- **課題は期限を守って必ず提出している。**
- **学習計画を立て見通しを持って勉強している。**
- **終わったテストの復習をしている。**

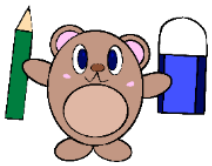
勉強をサボっているみなさん、後で必ず後悔しますよ。もうすぐ学年末考査です。計画を立てて、充分に勉強してテストに臨んで下さい！！

一週間の学習計画の立て方

学習は一週間単位で見通し、振り返りをしていきましょう。繰り返していくことで、時間の使い方がどんどん上手くなります。また、自分に合った勉強法を見つけるためにも、このサイクルはとても有効です。

ＳＴＥＰ１　曜日別に使える時間と「すること」を洗い出そう

- 平日は使える時間が少ないので、宿題や授業の予習・復習など最小限のことをする。平日でも、部活動がない日は使える時間が増えるので、まとまった時間を取りたいことにあてられる。
- 集中して学習する日と、ちょっと軽めにする日などメリハリがあっても良い。
- 洗い出した「すること（To Do）」について、だいたいの必要時間を設定しよう。



ＳＴＥＰ２　計画を立ててみよう

- 計画表のフォーマットは定期考査の際に先生から配布されたものや、手帳などを活用しよう。
- 毎日同じ量を同じ時間するのではなく、上に書いたような考え方で「すること」を分散させよう。
- 実行できなかったものを回すための「予備の時間」を作っておこう。

ＳＴＥＰ３　実行！そして見直し

- 計画の最終日には、一週間でやることがすべて実行できたかを見直して、翌週の計画に生かすことが大切です。
- 上手くいかない原因としてよくあるのが、「詰め込みすぎ」。あらかじめ「予備の時間」を設けておこう。
- 大切なのは、計画を立てっぱなしにするのではなく、実行してから必ず振り返って、修正すべき点は修正し、次週に生かしていくことです。最初は上手くいかないかもしれませんが、何度も繰り返すことで自分の学習のペースがつかめるので、必ず成績が向上します。根気よく繰り返しましょう。

未来探究発表会

２月21日（火）に、２年次生が取り組んできた地域探究の成果を発表します！！現在、グループごとに地域課題の解決策を考え、発表用のスライドを作成中です。生徒たちの励みになりますので、２年次の保護者の皆様にはぜひ足を運んでいただければと思います。

編集長のつぶやき

令和も早５年目。勝田中等ももうすぐ３年目を迎えます。コロナ禍の中での開校でしたが、生徒たちに少しでも多くの経験や刺激を提供したいと思い、コロナに負けずにがんばっています。生徒たちが笑顔でミラタンの授業に取り組んでくれていることが何よりの幸せです。令和５年度もいろいろチャレンジして「学びでワクワク」しましょう☆今年もよろしくお願いします。